日本小児へそ研究会の発展的解散についてのご案内

平素より、日本小児へそ研究会の活動にご協力いただきありがとうございます。

本会は、小児の診療において、へそに関連した治療全般について意見交換を行い、よりよい治療を患児に提供することを目的とし、2014 年に発足しました。
以後、日本外科学会学術集会期間に開催することで、多くの先生方とへそに関連した治療全般について意見交換を継続することができ、今年で第 10 回をむかえることができました。しかし、本会開催において、日本外科学会学術集会内での開催における研究会開催規約により、外科学会プログラムとの平行開催ができないため開催時間が遅くなること、それによる演題数の制約、参加人数の減少などの問題が出現しているため、本年の幹事会で、今後の本会の方向性が審議されました。
今までテーマを決めてへそに関するあらゆるディスカッションが行われてきたことで、研究会発足時の目標は達成しているという観点からも、本研究会は、2025 年をもって発展的解散となることが承認され、2024 年施設代表者会議において、皆様にご報告させていただきました。

2025 年の発展的解散にむけ、予算案を幹事会で審議いただき、2024，2025 年の施設会費（年会費）の請求は行いません。なお、2023 年まで施設会費については未振込の施設会員へは再請求させていただきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

なお、研究会の最終回となります、2025 年、第 11 回日本小児へそ研究会（会長小高昭雄先生）は、第 125 回日本外科学会学術集会開催期間内に開催されますので、振ってご参加ください。

令和 6 年 5 月 7 日

日本小児へそ研究会　代表幹事（事務局代表）奥山　宏臣